

システムの構成

キーステーションは下記のユニットで構成されています。

- (1) マスタユニット
- (2) 出力（16点）ユニット
- (3) 入力（16点）ユニット
- (4) キーカセットユニット
- (5) カードリーダー&テンキーユニット
電気錠制御ユニット・センサ入力ユニット
- (6) 電源ユニット

ユニットの概要

- | | | |
|---|----------------------|------|
| (1) マスタユニット [本システム全体を制御します] | [RS-485] | 1 ch |
| a. 入力・出力ユニット用通信ポート
MAX32台の入力／出力ユニットが接続できます。 | | |
| b. 拡張用通信ポート | [RS-485] | 1 ch |
| マスタユニット（サブ）3台が接続でき、200chのキーカセットに対応します。 | | |
| c. キーカセットユニット用通信ポート | [シリアルクロックインタフェイス] | |
| MAX50キーカセットの接続ができます。 | | |
| d. カードリーダー&テンキーコントロールユニット用通信ポート
EKコントロールユニット [オプション] | [RS-485] | 1 ch |
| MAX16台のCR&テンキーユニットが接続できます。 | | |
| e. プリンタ用出力ポート | [セントロニクス] | 1 ch |
| f. パソコン用通信ポート | [RS-232C] | 1 ch |
| g. 表示パネル用通信ポート | [シリアルクロックインタフェイス] | |
| h. 内蔵 | [テンキー・LCD・時計] | 各1個 |
| テンキー、LCD 各種設定に使用します。 | | |
| 時計 うるう年自動補正 | | |
| i. 予備パラレル入／出力 | | 各8点 |
| 年間タイムスケジュール入力に使用します。 | | |
| | | |
| (2) 出力（16点）ユニット | | |
| a. マスタユニット用通信ポート | | 1 ch |
| b. リレー出力 | [無電圧接点／定格負荷DC24V／1A] | 16点 |
| c. ユニットアドレス設定スイッチ | | 1個 |
| | | |
| (3) 入力（16点）ユニット | | |
| a. マスタユニット用通信ポート | | 1 ch |
| b. 無電圧入力 | | 16点 |
| c. ユニットアドレス設定スイッチ | | 1個 |

(4) キーカセットユニット

a. マスタユニット用通信ポート	1 ch
b. 状態表示 (赤) / 警戒表示 (緑) LED	各 1 点
c. ソレノイド	1 個
d. リミットスイッチ	2 個
e. ユニットアドレス設定ピン	1 個

(5) カードリーダー&テンキーユニット

a. マスタユニット用通信ポート	1 ch
b. カードリーダーインタフェイス	1 ch
c. テンキーインタフェイス	1 ch
d. LCD表示ユニットインタフェイス	[オプション] 1 ch
e. 音声合成モジュールインタフェイス	[オプション] 1 ch
f. ユニットアドレス設定スイッチ	1 個
g. 表示LED [セット/リセット、アラーム、解錠]	3 点
h. リミットスイッチ	1 点
i. 電気錠制御ユニット	[オプション] 1 ch
j. センサ入力ポート	[オプション] 1 ch

(6) 電気錠制御ユニット

(5) に含まれる。

(7) 電源ユニット

a. 入力	[AC100V] 充電回路含む
b. 出力	[DC12V/10A]
c. バッテリ	[16Ah] 無瞬断切換回路

システムの機能

(1) 通用口扉の出入り管理

- a. 電気錠および電気錠制御器、外部カードリーダー（何れもオプション）等を設置することで、ビルの閉館時間帯は、外部からは磁気カードを使用して通用口扉を開け入館することができます。内部からは、解除ボタンまたはサムターンの操作で通用口扉を開け退館する事ができます。
- b. 年間／週間スケジュールタイマ（オプション）を設置することで、通用口電気錠／自動ドアのスケジュール制御ができます。
- c. 外部カードリーダーの操作履歴は本体プリンタで記録されます。

(2) テナント室への出退と鍵の管理

- a. 磁気カードとテンキー操作により、対応するキーカセットからテナント専用部の出入口のキーホルダを取り出してテナント室に入る事ができます。
- b. テナント専用部の出入口を施錠した後、磁気カードとテンキー操作により、対応するキーカセットのロックを解きキーを収納する事ができます。
- c. 「キーの収納」「キーの取り出し」操作は、セット／リセット信号として出力されます。〔個別出力〕また、操作の内容は全てプリンタで記録されます。

(3) テナント専用部の防犯監視

- a. テナント専用部に設置したセンサ（侵入センサ、ドアセンサ、施錠確認センサ等）の状態を入力した場合、キーカセットにキーホルダを収納することでテナント室の警戒を開始する事ができます。
- b. キーカセットからキーホルダを取り出すことで、テナント室の警戒を解除することができます。
- c. センサの状態は、キーカセットで常時表示し、異常は直ちに出力されます。
〔アラーム出力〕
- d. センサ入力オープン状態にあると、ロックは解かれずキーホルダの収納はできません。〔セットミス〕

(4) 共用部の防犯監視と1階共用部の特別な防犯監視

- a. 共用部通路は、各階毎にテナントの退館状況に応じ自動的に警戒の「開始／解除」ができます。〔グループ出力〕
- b. 1階共通部については、最終のテナントのキーホルダ収納操作後に、通用口通過迄の遅延時間を設定し、設定時間後に警戒を開始したり照明をOFFにすることができます。また、最終退館後の外部カードリーダーの照合出力で、上記設定時間、一時的に警戒を解除し、照明をONにする事ができます。〔1F設備出力〕

(5) ビル・オートメーション

- a. キーカセットの収納、取り出し操作と連動して、テナント専用部／共用部／1階共用部の空調・照明の制御（消し忘れた場合に消す）、エレベータ不停止制御ができます。
- b. BAシステムへの各種出力〔無電圧接点／RS-232C〕はオプションで可能です。

(6) プリンタ機能

- a. キーホルダの収納／取り出し操作の他、異常時の発生時間・発生場所、外部カードリーダーの操作履歴を記録することができます。
- b. プリンタはリアルタイム印字、バッチ処理印字の選択ができます。メモリはMAX1,000データ（1,000以上は消去、700で注意出力）

```
12 12 01:15 09ch 05 セット
12 12 01:24 08ch 03 リセット
12 12 03:35 04ch   アラーム
12 12 08:30 01ch 02 リセット
```

日付 時刻 テナントコード 個人コード 内容

(7) 磁気カード

テナント室カード、マスタカード、メンテナンスカードに対応します。カードには、ビルコード、テナントコード（MAX50）、個人コード（MAX99）が入力できます。カードの紛失は、抹消登録の設定で対応します。

(8) 外部出力

テナント室の鍵保管（警戒の開始／解除）〔=セット／リセット〕、不完全なキー収納、アラーム、最終退館、最始入館、プリンタ紙切れ等は外部に通報出来る出力を有します。

(9) 機能停止

マスタユニットのテンキー操作で、任意のチャンネルはシステムの機能により分離されます。

システムの機能（補足）

（1）警戒操作

イ. 警戒

各テナントの磁気カードを本体カードリーダーに挿入し、テンキーで暗証コードを入力すると、カード及びテンキーの入力データが正確であれば、カードに対応するキーカセットのロックが解錠状態となりキーホルダの挿入待ちとなります。キーホルダを挿入すると自動的にロック状態となり、「警戒」を開始し、緑ランプが点灯します。

この時、キーホルダを挿入する前にカードを抜くと警戒操作は中断されます。警戒が開始されると、対応するチャンネルに〈個別セット-1a〉が出力されます。

ロ. セットミス

イ) で警戒を開始しようとするチャンネルのループ（センサ入力）がオープン状態にあると、ロックは解錠状態にならず、LCDに トジマリ ガ フカンゼンデス の案内が表示されます。

（2）解除操作

各テナントのカードをカードリーダーに挿入し、暗証番号を入力すると、カードに対応するチャンネルのロックが解錠されキーホルダの一部が飛び出します。キーホルダを取り出し、カードを抜くと、解除状態となり緑ランプが消灯します。同時に、個別セット出力はブレイク状態となり、外部に「警戒の解除」状態を知らせます。

（3）最終退館

全てのチャンネルが警戒開始になると、最終退館の案内がLCDに表示されます。この時、最終退館出力（1c）接点がメイクします。最終退館時間（可変）後、1F設備出力をメイクします。

最終退館状態は、何れかのチャンネルが警戒解除となれば解除されます。

この時、最終退館出力接点はブレイクし、LCDの最終退館案内は消灯します。

（4）最始セット

何れかのチャンネルが警戒開始になると最始セット出力（1c）接点はメイクします。また、全てのチャンネルが警戒解除になると、出力接点はブレイクします。

（5）発報

何れかのチャンネルが発報すると、対応する個別発報出力（1a）が出力します。また、何れか1チャンネルでも発報すると、代表警報出力（1a）接点がメイクします。

発報の解除は、そのチャンネルを解除することにより停止します。

各種設定操作

本体マスタユニットのテンキーを操作することで、以下の登録／設定などができます。

1. テナント (CH) 毎のMAX4桁の暗証番号が設定できます。
2. 磁気カードの登録／株消設定ができます。
3. 抹消登録を行ったカードを確認することが出来ます。
4. テナント (CH) の、グループ (階) 分けの設定ができます。
5. 複数のキーカセットをまとめて1警戒区画とする設定ができます。
設定されたキーが全て収納されると警戒となり、キーが一つでも取り出されると警戒が解除される。
6. プリンタに打ち出す時刻の設定ができます。
7. プリンタの印字の選択 [リアルタイムorバッチ] 設定ができます。
8. システムの機能に影響をあたえずに、任意の複数のCH機能を停止させることができます。
9. 以下のタイマ時間の設定ができます。
 - イ. ディレイタイマ [ディレイタイマに時間を設定することで、全CHセット後のディレイ出力を設けることができます。]
(= 1 F 設備出力……最終退館、最始入館処理等に使用します)
 - ロ. 操作待ちタイマ [操作待ちタイマは、カード／テンキーの照合後、タイマ時間内にキーホルダが収納されると停止し、収納されない場合はタイマ時間後、ブザー用タイマを起動させます。]
 - ハ. ブザータイマ [ブザー用タイマは、ロの操作後、タイマ時間ブザーを鳴動させ、キーホルダが収納されない場合は、キーホルダ異常出力をメイクさせます。]